

2 富士山環境保全活動推進事業費補助金の活用事例

今年度の新規事業として、「富士山環境保全活動推進事業費補助金事業」を実施しました。会員の自主的な環境保全活動を補助金により支援することで、富士山憲章の周知定着と環境保全活動の更なる推進を図ろうとするものです。

今年度は6会員が補助金を活用した取り組みを行いました。

<補助金活用事例>

①静岡県ワンダーフォーゲル会 韓国「忠清南道庁山岳会」と一緒に富士山交流清掃登山

「静岡県ワンダーフォーゲル会」は7月11日、前日に日韓交流調印式（川勝静岡県知事、韓国忠清南道の李完九知事及び田村国会議員立会い）を行った韓国の「忠清南道庁山岳会」と一緒に富士山交流清掃登山をしました。

富士宮口五合目から登山を開始し、清掃をしながら下山する計画でしたが、濃霧と強風のため登頂を中止し、登山道から宝永火口まで行き、樹林帯の遊歩道を通して、五合目まで戻りました。清掃は樹林帯の遊歩道及び五合目の駐車場でを行い、終了後、県自然保護室作成の資料『富士山へ登る人のために』の韓国語版を利用し、日韓両国語で「富士山憲章」を唱和しました。

遊歩道にはごみがありませんでしたが、駐車場付近には「タバコの吸殻」「ビニールごみ」が目立ちました。韓国の登山愛好家は、富士山に対して非常に強い憧れを持っているので、来年は、ぜひ、多くの韓国登山愛好家と一緒に登頂したいと考えています。



富士宮口五合目
韓国「忠清南道庁山岳会」のメンバーと

②国立大学法人 静岡大学 科学的視点からの「富士山展」開催

静岡大学は平成21年11月13日から平成22年2月19日にかけて、静岡大学創立60周年記念事業として国立科学博物館とのコラボ展示会である「富士山展」を静岡市駿河区大谷の静岡大学大学会館にて開催しました。本展示会は様々な視点から富士山に関する最新の研究成果を広く紹介するもので、「富士山の生い立ち」「富士山を人々はどう見てきたか」「富士山が噴火したら」「富士山の知らなかった生き物」という4つのテーマに関する12枚の説明パネルや5枚のバナー、床に敷き詰められた5m四方の赤色立体地図、火山弾、宝永噴火の降下物のほぎ取り標本や静岡大学で研究している新種の生物標本などを展示しました。

展示場の一角には「富士山憲章」の全文を記したポスターと、現在進行中の富士山を世界文化遺産に登録する運動を紹介するパネル展示をし、来場者に「富士山憲章」を周知しました。

来館者は科学的な視点からの富士山の展示を通して、その秀麗な姿が如何につくられたのかを理解し、また富士山の火山としての長い歴史を体感することができたと思います。



熱心に赤色立体地図の
作成秘話を聞く来場者